

## 要 旨

現代社会において、会社は多様なステークホルダーに価値をもたらす社会的な存在である。その代表的な形態である株式会社は、社会的価値を効率的に創造できているであろうか。本論文では、企業の価値創造におけるステークホルダーの貢献(Input)と報酬(Output)が立証可能でない場合には、株主と他のステークホルダーとの契約が不完備となり、株主利益最大化を目標とする標準的な株式会社が、十分な社会的価値を創造できなくなる可能性を理論的に検討する。また、この問題を解決するための具体的な方策（法、制度、社会環境等）を考察する。

**キーワード**：不完備契約　ホールドアップ問題　コーポレートガバナンス

*JEL classification* : D86; G34; L2